

ベリーショート賞

アカデミック

・メリー千住のり子

もしもし、お久しぶり。私のこと覚えてるよね。
合格おめでとう。これでアナタも私の後輩ね。私達の大学へ
ようこそ。

ところで、この大学の特色って知ってるかしら？
うんうん、総合大学である事と留学生が多い事。そうね。

その留學生のほとんどが妖怪、って言ったら貴方は信じる？
実は妖怪の世界では今、人間の社会でアカデミックな功績を上
げるのが流行ってるのよ。

最近で言うと、そうね、N I P Tを知ってる？ 非侵襲的出
生前遺伝子学的検査。お腹にいる赤ちゃんの病気を母親の血液
検査で見付けられるっていう、画期的な方法。アレを作ったの
は吸血鬼の医学者よ。

検査ついでに妊婦の血を摘みみ食いしているうちに、胎児が
病気を持つてると微妙に味が変わる事に気付いたんだって。そ
の後は人間と同じ。その化合物を特定して、分離して、特異的
に反応する検査薬を作って……ってね。

こんな風に、それぞれの特性を生かしながら学術してるのが
現代の妖怪。そして「我も」という妖怪を積極的に受け入れて
いるのがこの大学なのよ。

え？ 私も妖怪なのかって？
わざわざ電話かけてる辺りから察して欲しいわね。
私、メリーさん。今ユビキタスネットワーキング研究室に居
るの。

他にどんな妖怪が居るのかって？ うーん、そうねえ。
大抵の妖怪は、自分が妖怪である事を隠して大学生活を送っ
てる。だからあんまり言いたくないんだけど、まあ、アナタな
ら良いか。

例えば物理の彼女。色黒の、水泳サークルの、いつもニット
キャップ被ってる彼女よ。彼女は河童なの。流体力学の研究を
してる。卒研のテーマは確か船の燃費を大幅に向上させる船首
と船尾のデザイン理論だったかしら。

彼女は『流れ』に関して人一倍のセンスを持っているから、
あちこちの研究所が彼女とその研究に注目しているわ。船の燃
費と速力が向上すればそれがそのまま軍事力や経済力の向上に
なるから……あとは分かるわよね。

例えば情報の修士課程にいる彼は小豆洗いね。小豆洗いの伝承は知ってる？ 数を数えるのが得意だった小僧が殺され、その霊が夜な夜な小豆を洗っては数えていた話。本人いわく伝承なんて全くのデタラメらしいけどそこは置いておいて。

彼は粒子の動きを再現するアルゴリズムを作っているわ。粒子の大きさと、力を加える方向や大きさを指定すればほぼ正確にその動きを示して見せてくれる。使い道は無限大ね。

具体的に？ 私の専門外だからよく分からないけれど、うーん、土地の組成に即した砂粒を想定すれば地震の被害を予測出来るかな。分子レベルの粒子を想定すれば建築材の劣化などにも応用できるかしら。

まあ、彼自身もその辺あんまり興味無いみたい。「数と粒への鋭敏な観察眼を活かしているだけ」「どう使うかは皆さんにお任せ」と言っていたわ。

あら、妖怪が羨ましくなってきた？ ふふ、単純ね。でも良い事はかりじゃないのよ。

テケテケは分かる？ そう、両脚の無い。彼女の並外れた殺傷能……もとい、身体能力は夜にしか発揮されないの。昼間の移動は車椅子でしているわ。けっこう大変みたい。とてもバリアフリーとは言えないものね、この大学もこの街も。

解り易い例としてテケテケを挙げたけれど、幽霊とか悪霊に

分類される妖怪たちもだいたい苦労しているわね。彼らは階段を上れないの。段差が一枚の壁に見えてしまう。そういう目なのよ。だからスロープを使うしかないのだけれど、そんな親切な建物ばかりじゃないからねえ。

あと、ほとんどの妖怪が共通して苦労しているのは食べ物ね。基本的な妖怪避けって盛り塩でしょ？ あれ本当に効くのよ。盛り塩を苦手とする妖怪たちは体内にあるナトリウムポンプ——理科で習ったわよね、細胞のイオン濃度を調整するアレ——の仕組みが人間と違って、濃い塩分は身体の害となるの。でも懇切丁寧に塩分量を表示してる食事処なんてあまり無いじゃない？

西洋をルーツにする妖怪だと聖水がダメよね。現在化学科の悪魔さんが解明中なんだけど、やっぱりこっちも代謝関係の問題で、特定の川に豊富なイオンがダメだったみたい。昨今の聖水がお飾りと化しているのは蒸留水を使っているからね。

ん？ 私はどっちが苦手なのかって？

私、メリーさん。今コンビニに居るの。唐揚げと硬水美味しいわ。つまりどっちも平気よ。

彼らがそういう特異体質について尋ねられた時は、大抵病気のせいにしてる。それで解決する。

実際にあるものね。両脚を失くす病も、脳の損傷で立体視が出来なくなる事も、イオンポンプが壊れて特定の食べ物がダメになる先天性異常も。

さつき「ほとんどの妖怪が素性を隠している」って言ったでしょ。もしコレらを病気のせいじゃなくて「妖怪だからです」って言ったらどうなるかしら？ ねえ、誰も助けてくれないと思わない？

歴史を遡れば、人間なのに病気がつたが故に妖怪とされた者も居る。

今どうかしら。自分は妖怪だなんて言ったら、病気扱いされちゃいそうよね。心の方の。

リセイテキな人ほど、ワキマエタ人ほど、信じたい物と信じない物を明確に分けるから世知辛いわ。妖怪なんて存在はきつと「頭が弱い者の妄想だ」と鼻で笑って否定するわよね。

私達はこんなにもアカデミックなのに。

え？ アナタも少し疑問なの？ 本当に私や彼らは妖怪なのかって？ 稀有な才能を持っていたり、特異体質に困ってるだけの人間なんじゃないかって？

まあ確かにね。そう考えることも出来るわね。

じゃあ、アナタ。アナタは本当に「自分は人間だ」と言い切れる？ それは何を根拠にしている？ 周りとの違いが少ないか

らかしら？

もし周りと同じだから自分も人間、その理屈で居るのなら、アナタの傍の外国人は人間ではなくなるわね。アナタ達とは違う顔立ち、違う色み、違う体格。ネグロイドの強靱なバネや、コーカソイドの政治的先進性。その異形異能は、ね、妖怪みたいじゃない？

まあ、答えは自分で考えてみて。一朝一夕で解決できる物じゃないから。

ちなみにそれを研究しているサトリが生物学科遺伝学研究室の准教授だから、興味があるなら会いに行くのと良いかも。

あ、これもう答え言っちゃったような物ね。そう、遺伝子。人間と妖怪の違いは遺伝子に在るんじゃないかって彼は踏んでいるの。

今どういう経過なのかは私も知らない。そもそも『妖怪にも遺伝子が在る』っていう彼の仮説があっているかさえ分からない。もし彼の話を聞いてきたら、私にも教えてね。

随分長話してしまつたわね。でもまだ話し足りないわ。ちょっとお腹も空いたし、これから一緒に食事しない？

……ありがと。じゃあ行きましょう。

待ち合わせ場所？ いいえ、必要ないわ。

私、メリーさん。今アナタの後ろに居るの。

ベリーショート賞『アカデミック・メリー』